

平成30年度 府立北桑田高等学校 学校経営計画（スクールマネジメントプラン）（計画段階・実施段階）

学校経営方針（中期経営目標）	前年度の成果と課題	本年度学校経営の重点（短期経営目標）
<p>1 時勢の変化と教育に対する社会的ニーズの推移に対応した、特色ある教育の創出</p> <p>2 基礎学力を身につけるとともに、進路目標に応じた学力・能力を身につけ、自らを高め、将来を切り拓いていくことができる生徒の育成</p> <p>3 郷土の自然や文化に学び、前向きに地域社会とかかわり、貢献しようとする姿勢を持つことのできる生徒の育成</p>	<p>1 学校の活性化案を示し、生徒・保護者や地域のニーズと期待に応える目標を掲げ、教育活動を推進した。本校の特色を活かした教育課程、学科編成を進めることができた。今後、活性化案を一つ一つ具現化していくことが大切である。</p> <p>2 前期選抜における京都市・乙訓通学圏からの普通科受検が可能になるなど、生徒募集を推進することができた。また、積極的に情報発信をすることができた。今後も生徒数確保に積極的に取り組んでいくことが大切である。</p> <p>3 少人数の特色を活かした丁寧な個別指導を推進し、学力・能力の向上を図った。 今後も少人数のメリットを生かし、進路を切り開き生きる力を養う教育を推進する。</p> <p>4 個別指導、予備校サテライト講座の試行など学力向上や進路実現への対応を進めた。サテライト講座の本格実施や高大接続改革への迅速な対応が大切である。</p> <p>5 地域創生推進校として地域と連携し、地域に開かれた取り組みを積極的に行い、地域からも高い評価を得た。今後小・中学校との学校間連携を一層進めることが大切である。</p>	<p>1 学校活性化構想の具現化を進め、時勢や地域・生徒・保護者のニーズと期待に応える教育活動を推進する</p> <p>2 多様な生徒の実態に応じ、学ぶ姿勢の確立や基礎学力の定着を図るとともに、進路実現に向けた学力・能力の向上を推進し、生徒が学びの満足感を得られる学校づくりを行う</p> <p>3 生徒の進路希望の実現、進学実績の向上をめざし、主体的・能動的な学びに導く、質の高い教科指導を組織的に展開する。また、高大接続改革への対応を迅速・的確に行う</p> <p>4 小中高の連携を進めるとともに、学科や部活動など学校の特色を積極的に情報発信し、組織的、効果的な生徒募集を推進する</p> <p>5 「地域創生推進校」として、地域と連携し、地域に信頼され、地域の活性化に貢献できる取組を推進する</p> <p>6 部活動のあり方を検討するとともに、更なる特色化、活性化を進める</p>

評価領域	重点目標	具体的方策	評価	成果と課題
組織運営	学校活性化構想の具現化に向けた計画的・組織的な学校運営	学校活性化構想の具現化を進めるための地域、関係機関との連携、調整の推進 部長会議を中心に、各種会議の効果的な運営と各分掌の連携を密に「チーム北高」として取り組む		
	質の高い教育の組織的な推進	OJT、校内研修、センター研修等の積極的受講（10名以上の受講）やタイムリーな情報提供による教職員の資質能力の向上		
	高大接続改革を見通した教育内容の一層の充実	高大接続改革、学習指導要領改訂を見据えた教育課程の編成、学習指導計画の検討の推進		
	地域連携の推進と積極的な情報発信	地域活性化の取組を中心とした積極的な情報発信、年間50回以上の広報活動の実施、生徒募集活動（中学校への訪問等）の推進		
教育課程の編成と実施	普通科、森林リサーチ科共に、3年間を通して育てたい生徒の姿が明確に伝わる教育課程の編成と実施	第1学年次共通履修、サテライト講座を活用した補習等、本校独自の学力向上システムの構築と学習指導要領改訂に向けた教育課程の再編成		
学習指導	学習指導に関する授業評価アンケートにおける肯定的な意見平均アベレージ85%以上の達成	教師が生徒を指導助言する時間を増すことを目的とした教育計画の精選、教育環境の整備 知的好奇心をくすぐる授業と家庭学習の相乗効果で実力をつける授業改善		
進路指導	生徒の進路希望の実現、進学実績の向上をめざし、生徒一人ひとりに寄り添った希望進路達成のための支援	入試改革を見据えた指導の見直しと対策 各担任団と連携し、3年間を見通した進路指導の推進 学力の向上を目指した、平常講習・サテライト講座の効果的な実施 保護者向け進路講演会・見学会等の実施や情報提供の充実		

評価領域	重点目標	具体的方策	評価	成果と課題
生徒指導	基本的な生活習慣の確立と規範意識・社会性の養成	「挨拶」「時間を守る」「身だしなみを整える」など当たり前のことが普通にできる学校生活とする ----- 規則違反やマナー違反・不正を許さず安心して安全な学校生活の推進 ----- 家庭・関係機関と連携した問題行動の未然防止と全教職員の一致した指導		
	価値判断能力と自立性の養成	学校行事・地域行事への積極的な関わりによる人間力の形成		
	安全教育の徹底	家庭・地域と連携し、心身の健全な成長発達を目指した安全教育の充実		
特別活動	生徒会活動と部活動の充実	学園祭の一般公開等校外の地域活性化行事への意欲的参加 ----- 部活動の加入率85%以上を目指すとともに、部活動のあり方を検討し一層の特色化・活性化を図る		
健康・安全教育	保健管理、保健教育の充実	各種健診結果に基づく指導、保護者連携を確実にし、必要な生徒の医療機関受診率を向上させる 委員会活動を充実させ清掃時だけでなく普段の環境美化の意識向上へと繋げる ----- 社会情勢や生徒の状況を鑑みた保健学習を実施する		
	特別な支援を要する生徒への指導・支援の工夫と充実	学年・分掌・教科等との連携により生徒の状況の把握し、保護者連携、専門機関へに相談も視野に入れながら合理的配慮に基づく指導へと繋げる		
人権教育	生徒の人権感覚を育てる	生徒の実情に即した人権教育を実施することによる、人権を尊重する姿勢や差別を許さない態度の育成		
	関係分掌との連携を密にする	関係分掌と連携した課題に対する適切な対応		
	教職員研修の充実	教職員の世代交代を踏まえ、これまでの人権教育の成果と課題を引き継ぐ取り組みの推進		

評価領域	重点目標	具体的方策	評価	成果と課題
家庭・地域との連携	地域連携の推進と取組の充実	地域から信頼される「地域創生推進校」を目指し、地域やPTAと連携した魅力ある学校づくり		
	北桑田高校の取り組みの広報活動	「KITAKUWADA STYLE」・「PTA だより」・HP更新・PTA メール等の広報発信をタイムリーにし、「みがく。かがやく。」の実践を発信する		
活性化推進	生徒募集における寮の受け入れ態勢と下宿の確保	寮生、下宿生合わせて25名分の確保を目標に新規開拓に取り組む		
	部活動の更なる活性化と連携した生徒募集	部活動で15～18名の生徒確保を目標に、特色を活かした新たな活動を推進し、中学校等との連携に取り組む		
	府下全域、全国からの生徒募集にかかわる取組の推進	府内全域、特に京都市・乙訓地域での生徒募集の取組を継続的に行う		
学校図書館	学校図書館の活用を通し、“生きる力”の醸成、豊かな読書生活への助長	読書活動の推進 読解力の向上 学年・教科・分掌と連携し、少人数を活かした調べ学習への資料提供ならびに文献検索の推進		
	地域文化の資料・情報収集に努め、地域活性化への貢献を図る	郷土に関連する文学・文学者を中心に、地域全般に関わる資料の収集・展示		
農場部	効率的・効果的な農場運営	農業クラブ活動・各種の研修会への参加や資格取得の奨励及び技術向上の推進 安全管理能力を高め、安心・安全な実習環境の推進		
		農業クラブ府連大会の活動内容のブラッシュアップ推進 ドローンを活用した新たな取組 農場部の効率的・効果的な運営に努める。		
寮務部	円滑な寮生活を送るための、規則・ルールの徹底	寮生徒との対話を充実させた愛情ある指導の推進と規則厳守させるためのきめ細かな生活指導の徹底		
	生活環境の維持及び施設の充実	施設・設備の点検、改善による環境整備の充実		
事務部	生徒が入学して良かったと思われる教育環境づくり	安心安全な施設設備の維持、老朽施設の改修を進める ----- 寄宿舎の施設、設備の改善		
	学校運営への参画	事務室からの積極的な情報発信、分掌教科との情報共有 ----- 分校との情報共有		

評価領域	重点目標	具体的方策	評価	成果と課題
第1学年	適切な生活習慣の確立と規範意識の育成	充実した学校生活をおくるために必要な、落ち着いて集中できる授業及び生活環境の確保 服装・挨拶・言葉使いなど、高校生としてのふさわしい態度、および自己と他者の双方を尊重する規範意識の育成		
	学習指導の充実と自主活動への積極的参加	家庭学習習慣の定着と、基礎学力の向上 部活動への積極的加入の促進 学習との両立をはかるための、分掌・教科・地域・家庭との連携 支援を要する生徒への適正な対応		
第2学年	希望進路実現のために主体的に学習する姿勢と能力の育成	年間を通じて家庭学習時間の調査を行い、それに基づいた指導を徹底する 進路に関する取り組みを充実させ、系統的、計画的な進路指導を推進する 適切な時期に面談を行い、具体的な希望進路の把握、および実現への情報提供を行う		
	家庭・地域社会との密接な連携	全校清掃、文化祭などの諸行事を通じて、地域社会への貢献を図る 月1度の割合で「学年便り」を発行するなど、様々な機会を通じて家庭との連携に努める		
第3学年	希望進路の実現に向けた取り組みの充実	担任・保護者・進路部との連携を深め、生徒個々に応じた適正な進路指導の推進 日々の授業をベースに、補習・模擬試験等を積極的に活用し、確かな学力の向上		
	生きる力を身に付けさせる	日々の生活から人間性を磨き、社会で必要とされる人物の育成 自他を尊重し、人を思いやる心の育成		